

I 研究成果の紹介（第1回）

平成26年度の試験研究主要成果を紹介します。詳しい内容は、農業研究所ホームページにも掲載しています。ぜひ御覧になってください。

★青立ちしにくい大粒大豆「里のほほえみ」の認定品種採用

茨城県における大豆栽培は、県西地域を中心に約4,000ha作付けされており、そのうち大粒大豆が約6割を占めています。しかし、大粒大豆の主力品種「タチナガハ」は、近年青立ち症状が多発しており、青立ちが原因で収穫時期が遅れ、減収や品質低下を招いています。このことから、青立ちしにくい大粒品種「里のほほえみ」を新たに県認定品種に採用しました（採用年：平成27年）。「里のほほえみ」は青立ちがしにくい（写真参照）ほか、「タチナガハ」と比較して以下のような特徴があります（表参照）。

- 成熟期は4日早い（水戸市試験圃場、6月17日播種）、
- 耐倒伏性が同等に強い、
- 最下着莢位置が高いため機械収穫適性が高い、
- 莢がはじけにくい、
- 子実収量は同等、
- 百粒重は重い、
- タンパク質含有率が高い

ダイジストセンチュウには「タチナガハ」同様に弱いので、連作は避け、常発地帯での栽培はしないこと等が栽培の留意点になりますが、今後の普及拡大により、県産大豆の品質・収量の向上が期待されます。

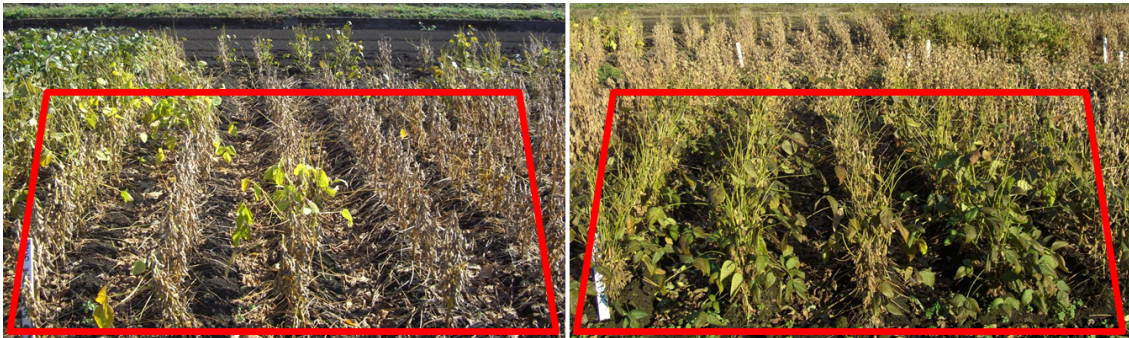


写真 成熟期の青立ちの様子（四角で囲った部分、左：「里のほほえみ」、右：「タチナガハ」）

注）青立ちが多発した平成24年の状況。「タチナガハ」は青い葉が多く残るが、「里のほほえみ」はほぼ落葉している。

表 「里のほほえみ」の生育、収量及び品質（対照品種「タチナガハ」）

品種名	播種日 (月/日)	成熟期 (月/日)	倒伏 程度	最下着莢 節位高(cm)	子実収量 (kg/a)	百粒重 (g)	タンパク質 含有率(%)
里のほほえみ	6/17	10/19	1	16	31.0	38.0	44.7
タチナガハ	6/17	10/23	1	12	31.8	35.3	42.2

注）試験場所：農業研究所（水戸市）、試験年：平成17～19年・平成24～26年、データは試験年の平均値、倒伏程度：0（5°以下）～5（65°以上）の6段階評価

Ⅱ イネ縞葉枯病と飼料用米をテーマに第4回主要課題現地検討会を開催

農業研究所水田利用研究室（龍ヶ崎市）において、イネ縞葉枯病と飼料用米に関する検討会を7月29日に開催しました。農薬会社、全農、県関係機関等から約50人が参加し、イネ縞葉枯病抵抗性品種や飼料用米品種の特性等についての研究を紹介するとともに、意見交換を行いました。

◆検討内容

○イネ縞葉枯病について

茨城県では県西地域を中心にイネ縞葉枯病の発生が増加し、減収する影響が認められています。これに対して、農業研究所ではイネ縞葉枯病抵抗性品種の選定と栽培法に関する試験を実施しています。試験ほ場を見学しながら



ら、県奨励品種で極早生品種の「一番星」について、イネ縞葉枯抵抗性を持つこと、「あきたこまち」（縞葉枯病に抵抗性を持たない）より成熟期がやや早いこと、また、倒伏に強いため施肥窒素量を多くすることで多収が見込め、食味も「あきたこまち」と同じ程度であることなどを紹介しました。このような品種特性を活かして、「一番星」がイネ縞葉枯病の発生地帯で広く導入されることが期待されます。

○飼料用米栽培について

飼料用米品種の選定と安定多収栽培法に関する試験ほ場においては、飼料用専用品種で、イネ縞葉枯病抵抗性を持つ「夢あおば」、「ホシアオバ」、「クサホナミ」等の収量性や耐倒伏性、脱粒性（粃のこぼれやすさの難易）について紹介しました。安定多収栽培法については、適切な施肥量や栽植密度等を検討していることを紹介しました。また、施肥に関する試験では、飼料用米の専用全量基肥肥料を利用した栽培方法も検討されており、今後の省力化技術の一つとして期待できます。

この他、県産地振興課からは、飼料用米の取組状況について、県の目標作付面積7,000haの達成に向けて生産拡大を推進していることなどの説明がありました。また、参加者からは、飼料用米作付け面積の増加に伴う特異的な病害虫の発生が今後懸念されるのではないか等の意見も出され、今後の試験のための参考となる情報を得ることができました。

作物の生育情報はこちらから

農業研究所では、水稻、麦類、大豆、かんしょ、落花生の生育情報をホームページ上で提供しています。ホームページアドレス <http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/nourin/noken/>

編集・発行／茨城県農業総合センター農業研究所
〒311-4203 水戸市上国井町3402
TEL029-239-7211(代) FAX 029-239-7306
水田利用研究室
〒301-0816 龍ヶ崎市大徳町3974
TEL 0297-62-0206 FAX 0297-64-0667
Mail nouken@agri.pref.ibaraki.jp
URL <http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/nourin/noken/>